

ゼッタイ合格♪

日商3級 簿記検定の合格ワザ

もくじ

Lesson 1	作戦の立て方(*^_^*)	1
Lesson 2	第1問仕訳対策\(^o^)/	9
Lesson 3	第5問精算表対策\(^o^)/	22
Lesson 4	第3問試算表対策\(^o^)/	37
コラム	ワタシは見た!試験会場にて(^_^;)	50
	受験前に貼る写真に	60

〔正誤表〕

P21仕訳の□内で、「金額」に間違いがあります

(例2) 20,000(誤) → 10,000(正)

(例3) 20,000(誤) → 50,000(正)

(例4) 20,000(誤) → 80,000(正)

*以上、訂正していただきますようお願い致しますm(_ _)m

Lesson 1

作戦の立て方(*^_^*) ♪

1. はじめに
2. 数字の書き方
3. 仕訳の省略
4. 主要8科目

1. はじめに

日商簿記検定3級は、70点取れたら合格です＼(^o^)／仕訳や試算表、精算表など
 いろんな問題が出題されますが、大ざっぱには？

- 第1問・・・仕訳5題（各4点×5＝20点）
- 第2問・・・補助簿や総勘定元帳への記入など（全部で8点くらい）
- 第3問・・・ほとんど試算表作成（全部で20～32点くらい）
- 第4問・・・ちょっと難しい仕訳問題や伝票問題など（全部で10点程度）
- 第5問・・・ほとんど精算表作成（全部で28～32点くらい）

というふうに決まっています。このうち「第2問」と「第4問」は、配点が低い割には？
 出題パターンがものすごくたくさんあり、難易度の高いものが出題されることもあり
 ます(^_^;)・・・なので、効率よく合格を狙うには(ーー)？まずは

「第1問」と「第3問」と「第5問」だけに絞る！！

「第2問」と「第4問」は、初めから全部捨てても？→100点満点のうちの18点しかあり
 ません。残りの82点から70点を取りに行くつもりで対策を立てると？

- ①ベンキョーの範囲がものすごく少なくて済むし(^o^) ♪
- ②制限時間の心配もしなくて済みます(^o^) ♪

日商簿記検定は「記述式」ですが、ある意味マークシートの試験と同じで「部分点」な
 どはありません(^_^;)「配点箇所が出来ているか否か」だけを見て→○か×とする・・・
 という白黒ハッキリした採点方法です。但し、「配点箇所はどこか(ーー)？」については
 よく考えられていて→「ボキ的に意味のあるところ」にしか配点はありません(^_^;)な
 ので、合格のためにベンキョーするなら？

「どこに配点があるのか？」を意識して解くこと！

がとても大切です(*^_^*)

2. 数字の書き方

金額の書き方(^o^)

「¥」マークや「円」などを書かない！
3ケタごとにコンマ「,」を打つ！
金額の終わりに「—」などを書かない！

(悪い例) 3000000 → 3,000,000
 ¥200,000 → 200,000
 120,000— → 120,000

簿記検定は「記述式」なので、採点はすべて人力(じんりき)です(^_^;)なので、他人が読める程度の文字を書くことはもちろん、数字については特に注意しなければなりません。

- ①コンマとケタが合っていない…とか(^_^;)
- ②他の数字と読み違いやすい書き方(—)

などは、検定以前の問題としてゼツタイに許されません。

- ・「0」と「6」…とか
- ・「4」と「9」…とか
- ・「1」と「7」…とか

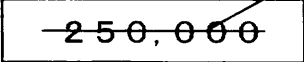
は特に注意が必要です。例として「1,000」のようにゼロが続くときは、一筆書きのようにゼロを続けて書くのではなく、→1つ分と2つゼロを切り離してハッキリと書くようにします。

金額訂正の仕方(^o^)

1つの金額は「かたまり」と考える！

(悪い例) $\overset{5}{300,000} \rightarrow 300,500$
 $\underset{\times}{2000,00} \rightarrow 2000,00 \quad 200,000$

ちなみに(^o^)日商簿記検定で使える筆記用具は、「黒の鉛筆またはシャープペンシル」と「消しゴム」です。鉛筆か？シャープペンか？はどちらでもいいですが、消しゴムを使う場合はかなり慎重に(^_^;)消し跡が残らないようにキレイに消さないといけません。書き間違えたとしても？矢印で示せば、記入が「欄外」になってもOKです(*^_^*)

280,000


……みたいな書き方もアリです(*^_^*)

3. 仕訳の省略

3級定合格のために「ゼッタイに欠かせない知識」は、ズバリ！

「ホームポジション」と「T勘定」

です(*^_^*)資産・負債・資本の「増えるとき」がどっちで？収益・費用が「発生するとき」がどっちか？これを覚えないとハナシになりません(ー_ー)

貸借対照表		損益計算書	
資 産	負 債	費 用	収 益
	資本(純資産)	経利益	

「簿記の一連の流れ」で、取引が発生したら→仕訳して→仕訳帳に書いて→転記して→総勘定元帳に書いて→集計して試算表→決算をして→精算表→清書して貸借対照表と損益計算書……というカンジで、最終目的として「貸借対照表」と「損益計算書」を作ってるわけです(*^_^*)なので、そこに出てくる「資産・負債・資本」や「収益・費用」が

- ・ 増えるのであれば→「ホームポジション側」を増やす
- ・ 減らすのであれば→「ホームポジションと反対側」を増やす

そんなカンジで仕訳していいないといけません(*^_^*)

さらに(^o^)/ 例えば

「買掛金30,000円を現金で支払った」というときに、いちいち仕訳しなくても？

現 金	買掛金
3,000	3,000

と、「いきなり転記」で書けるようにならないといけません(*^_^*) ♪

チャレンジ＼(^o^)／

次の取引を「いきなり転記」してみましょう♪

- ①商品20,000円を売り渡し、代金は現金で受け取った。

現金

売上

- ②商品10,000円を仕入れ、代金は掛とした。

仕入

買掛金

- ③掛代金100,000円を手形で回収した。

受取手形

売掛金

- ④掛代金80,000円を約束手形で支払った。

支払手形

買掛金

- ⑤満期日が到来し、手形代金150,000円が当座預金に入金された。

当座預金

受取手形

- ⑥満期日が到来し、手形代金90,000円が当座預金から引き落とされた。

当座預金

支払手形

(解答は次のページ)

前ページの確認 (*^_^*)

①商品20,000円を売り渡し、代金は現金で受け取った。

現金	売上
20,000	20,000

②商品10,000円を仕入れ、代金は掛とした。

仕入	買掛金
10,000	10,000

③掛代金100,000円を手形で回収した。

受取手形	売掛金
100,000	100,000

④掛代金80,000円を約束手形で支払った。

支払手形	買掛金
80,000	80,000

⑤満期日が到来し、手形代金150,000円が当座預金に入金された。

当座預金	受取手形
150,000	150,000

⑥満期日が到来し、手形代金90,000円が当座預金から引き落とされた。

当座預金	支払手形
90,000	90,000

チャレンジ＼(^o^)／ 次の一連の取引を「いきなり転記」しましょう♪

- ①商品50,000円を仕入れ、代金は現金で支払った。
- ②商品80,000円を売り上げ、代金は掛とした。
- ③商品10,000円を仕入れ、代金は月末に支払うこととした。
- ④商品30,000円を売り上げ、代金は現金で受け取った。
- ⑤掛代金40,000円を手形で回収した。
- ⑥掛代金20,000円を約束手形で支払った。
- ⑦掛代金30,000円を支払うため為替手形を得意先の引受を得て振り出した。
- ⑧満期日が到来し、手形代金50,000円が当座預金に入金された。
- ⑨満期日が到来し、手形代金60,000円が当座預金から引き落とされた。
- ⑩現金10,000円を当座預金に預け入れた。

現 金	
前月繰越	70,000

当座預金	
前月繰越	20,000

受取手形	
前月繰越	50,000

売掛金	
前月繰越	75,000

支払手形	
前月繰越	60,000

買掛金	
前月繰越	55,000

仕 入	

売 上	

(解答は次のページ)

前ページの確認(*^_^*)

- ①商品50,000円を仕入れ、代金は現金で支払った。
- ②商品80,000円を売り上げ、代金は掛とした。
- ③商品10,000円を仕入れ、代金は月末に支払うこととした。
- ④商品30,000円を売り上げ、代金は現金で受け取った。
- ⑤掛代金40,000円を手形で回収した。
- ⑥掛代金20,000円を約束手形で支払った。
- ⑦掛代金30,000円を支払うため為替手形を得意先の引受を得て振り出した。
- ⑧満期日が到来し、手形代金50,000円が当座預金に入金された。
- ⑨満期日が到来し、手形代金60,000円が当座預金から引き落とされた。
- ⑩現金10,000円を当座預金に預け入れた。

現 金	
前月繰越	70,000
	50,000
	30,000
	10,000

当 座 預 金	
前月繰越	90,000
	60,000
	50,000
	10,000

受 取 手 形	
前月繰越	50,000
	50,000
	40,000

売 掛 金	
前月繰越	75,000
	40,000
	80,000
	30,000

支 払 手 形	
60,000	前月繰越
	60,000
	20,000

買 掛 金	
20,000	前月繰越
30,000	55,000
	10,000

仕 入	
50,000	
10,000	

売 上	
	80,000
	30,000

*「前月繰越」が書いてある側が、その科目のホームポジション側になってるはずですよ。
確認してみましょう(^o^)

4. 主要 8 科目

日商簿記3級では、「販売業を営む個人商店の簿記」をベンキョーしています(^o^)!
販売業とは?「商品を仕入れて(利益をつけて)お客さんに売ること」がメインです。また、個人商店とは「株式会社ではない」という意味です。株や社債の有価証券を「購入する」ことはあっても?それらを「発行する」ことはありません。お店の正味財産である「資本金」も、あくまで「資産-負債」で計算される「純資産」にすぎません。

検定試験でしっかりと点数を取るには(^o^)?やみくもに答案用紙を埋めるのではなく→簿記の世界で考えたときの「重要なところ」が出来てないといけません。あらかじめ、「どこに配点があるのか(-_-)?」を考えながら解いていくことが大切です。

販売業の簿記で、最も重要な勘定科目は次の8科目です(^o^)

仕入 の相手科目・・・**現金** **当座預金** **買掛金** **支払手形**

売上 の相手科目・・・ " " **売掛金** **受取手形**

この中でも特に、**仕入** **売上** **現金** **当座預金** は最重要Aランクです(*^_^*)
これらの科目は販売業をやっていると?ほぼ毎日動きがあります。**売掛金** **買掛金**
受取手形 **支払手形** も動きが多く、間違えると得意先や仕入先にも迷惑をかけるので、必ず合わせなくてはなりません(^o^)

「主要8科目」は、第3問で出題される「試算表作成問題」を解く場合に大切です。その他にも、例えば?第5問で出題される「精算表作成問題」では決算整理がメインになるので→決算整理に関係のある科目に配点がある・・・とか、「商品有高帳」や「売上帳」「仕入帳」のような補助簿のそれぞれにも→その補助簿にとって大切な箇所に配点がある・・・そんなカンジで配点箇所は決まっています(*^_^*)



合格には
「作戦」も大切です

Lesson 2

第1問仕訳対策＼(^o^)/

1. 問題文の読み方
2. 手形の仕訳
3. 振替仕訳
4. 再振替仕訳

1. 問題文の読み方

【例題1】次の取引を仕訳しなさい(^o^)

仕入先大阪商店から商品¥430,000を仕入れ、代金のうち¥200,000については神戸商店振出し、京都商店受取りの約束手形を裏書譲渡し、残額は大阪商店を受取人とする為替手形(引受済)を振り出して支払った。

試験としての読み方

仕入先大阪商店から商品¥430,000を仕入れ、代金のうち¥200,000については神戸商店振出し、京都商店受取りの約束手形を裏書譲渡し、残額は大阪商店を受取人とする為替手形(引受済)を振り出して支払った。

読み取れること

- ① ¥430,000を仕入れた = (借方)仕入430,000 になる
- ② うち¥200,000は裏書譲渡 = (貸方)受取手形200,000 になる
- ③ 残額は為替手形を振り出した = (貸方)売掛金230,000 になる

→ 為替手形は他人に払わせるための手形！

【解答】

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	430,000	受 取 手 形	200,000
		売 掛 金	230,000

【例題 1】は、アタマの中で仕訳が完成していく過程を示すと次のようになります(^o^)

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	430,000	???	(合計で43万)



借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	430,000	受取手形 ???	200,000 (あと23万?)



借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	430,000	受取手形 売掛金	200,000 230,000

仕入代金を払うためには？→①現金か？②小切手(当座預金)か？③掛(買掛金)か？④手形で払う(支払手形)のか？⑤自分が持っている資産(売掛金や受取手形)で払うか？……これぐらいの候補がアタマに浮かぶはずです。問題文を読みながら「この人は何をもって払おうとしてるのか(--)？」を読み取らないといけません。

よく考えると(--)？

仕訳のときの問題文は「取引」です。仕訳に必要なのは①日付②相手科目③金額の3点だけで、それに関する情報だけを読み取っていけばいいはず(*^_^*)

①「日付」について

1組の仕訳の中で、日付が違うハナシが混ざることはありません。有名なヒッカケとして？→「かねて…」という言葉があります。これは今日の仕訳に必要な「過去の情報」を教えてくれてるだけで、「かねて」を解答用紙に仕訳してはいけません(^_^;)

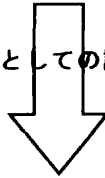
②「相手科目」について

科目を決める上では、商店名はほとんどカンケーないはず(^_^;) 結局は？「当店」=自分のこと、「同店」=他人のこと…を区別するのと、問題文に主語があって、自分が何商店か？名前がわかってるときは→実は「自分」が振り出してることはないか？をチェックしないといけません。

【例題 2】 次の取引を仕訳しなさい(^o^)

福井商店から商品 ¥ 230,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 150,000 については同店から為替手形の引受けを求められたのでこれを引き受け、残額については同店あての約束手形を振り出して支払った。

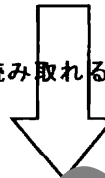
試験としての読み方



福井商店から商品 ¥ 230,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 150,000 については同店から為替手形の引受けを求められたのでこれを引き受け、残額については同店あての約束手形を振り出して支払った。

△ (=他人から)

読み取れること

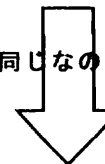


- ① ¥ 230,000 を仕入れた = (借方) 仕入 230,000 になる
- ② うち ¥ 150,000 は為替手形を引き受けた = (貸方) 支払手形になる
- ③ 残額は約束手形を振り出した = これも (貸方) 支払手形になる

【解答】

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	230,000	支払手形	150,000
		支払手形	80,000

科目が同じなのでまとめます

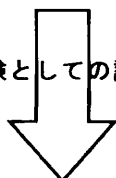


借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	230,000	支払手形	230,000

【例題3】次の取引を仕訳しなさい(^o^)

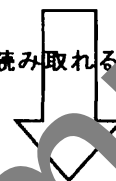
仕入先青森商店から商品¥450,000を仕入れ、代金のうち¥200,000については秋田商店振出し当店受取りの約束手形を裏書譲渡し、残額についてはかねてより売掛金のある得意先岩手商店を名宛人、青森商店を受取人とする為替手形(引受済)を振り出して支払った。なお引取運賃¥3,000は現金で支払った。

試験としての読み方



仕入先青森商店から商品¥450,000を仕入れ、代金のうち¥200,000については秋田商店振出し当店受取りの約束手形を裏書譲渡し、残額についてはかねてより売掛金のある得意先岩手商店を名宛人、青森商店を受取人とする為替手形(引受済)を振り出して支払った。なお引取運賃¥3,000は現金で支払った。

読み取れること

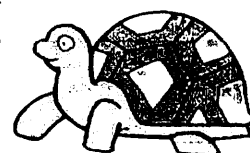


- ① ¥450,000を仕入れた = (借方)仕入450,000 になる
 ② うち¥200,000は約束手形を裏書譲渡 = (貸方)受取手形になる
 ③ 引取運賃¥3,000を現金で支払った = 3,000を「仕入」に含める！

【解答】

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	453,000	受 取 手 形	200,000
		売 掛 金	250,000
		現 金	3,000

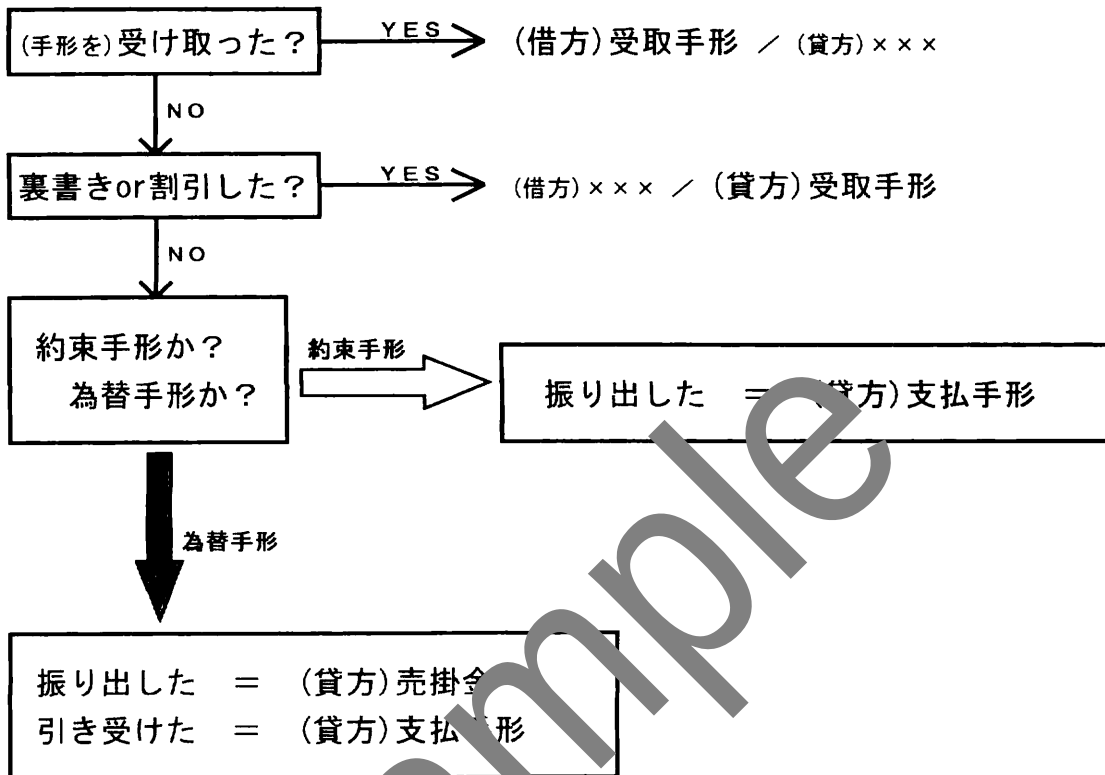
引取運賃は「相手負担」と
 ハッキリ書いてない限り
 自分が負担してると考えて
 必ず「仕入」に含めます♪



2. 手形の仕訳

手形が出てくる仕訳は

(スタート)



というカンジで考えます。もともとの意味として？

- ・ 約束手形…(自分が当事者として)約束するための手形
- ・ 為替手形…為替(現金の受け渡しナシでお金を送る)のための手形
- ・ 裏書譲渡する…手形の裏に名前を書いて→次の人に譲り渡す

なので、「約束手形＝自分で払う」とか「為替手形＝他人に払わせる」とか「裏書譲渡＝受取手形を手放す」というイメージで理解するといいいです(*^_^*)



為替手形の仕訳のコツは
いちいち△を考えないことです♪

